

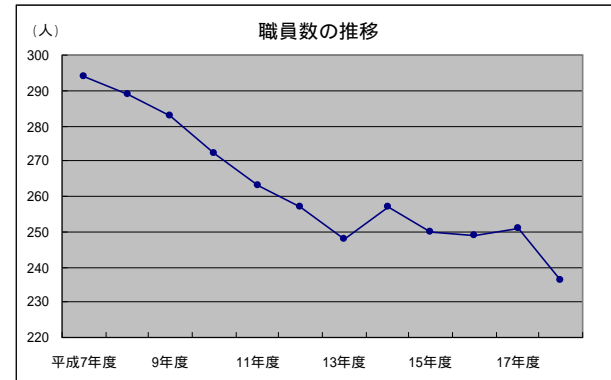
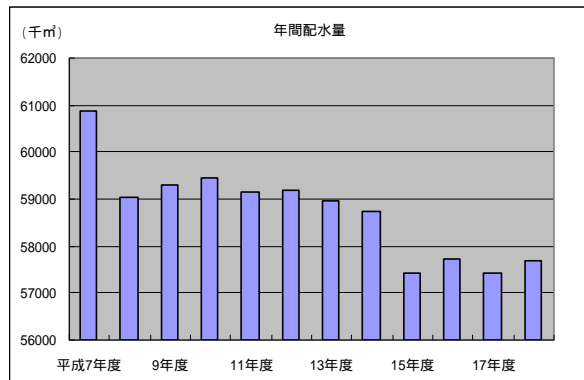
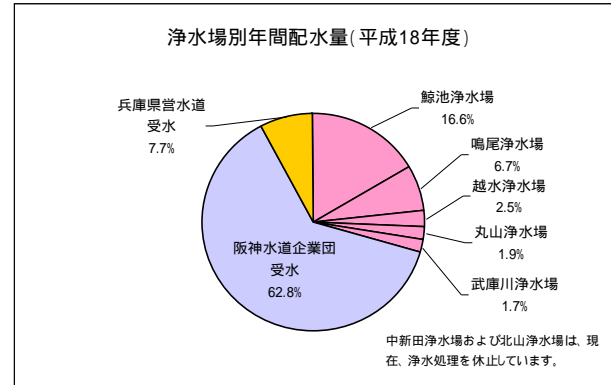
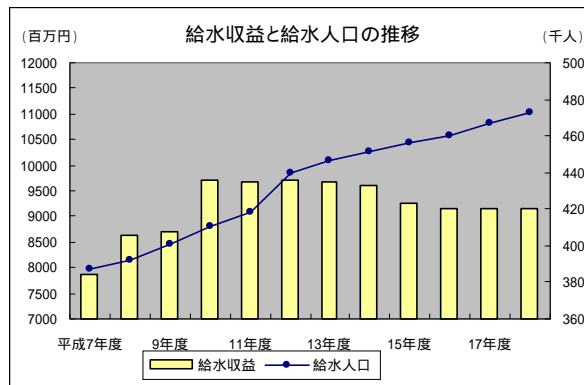
現状と課題

近年、安全な水に対するニーズが年々高まっている一方で、節水器具の普及や節水意識の向上などにより、水需要及び給水収益は伸び悩んでいます。

本市の浄水場は、南部地域に6箇所と北部地域に1箇所ありますが、更新時期を迎えつつあります。耐震性が低く、また、水質基準の強化に伴う高度浄水処理の必要が生じる浄水場もある一方で、水需要の伸び悩みなどにより、浄水場の施設能力に余剰が生じています。

水源内訳としては、29%が自己水源、63%が阪神水道企業団から、残りは兵庫県営水道から受水しています。また、阪神水道企業団からの高度浄水処理水の受水量の増量が可能となりました。

今後も施設の老朽化への対応、安心・安全で快適な水道水の確保、災害対策等の充実、環境への配慮など、「西宮市水道ビジョン」に基づき、より効率的・効果的な事業を進め、健全かつ安定した事業実施に取り組んでいく必要があります。



基本方針

より質の高い安心・安全な水の安定供給に努めるとともに、健全な経営の持続に努めます。

主要な施策展開

(1) 安心・安全な水道水の供給

良質な水源の確保に努め、阪神水道企業団の受水量を増量し、配水過程での水質の監視を充実させるとともに、鉛製給水管の解消を図っていきます。また、水質検査については、阪神水道企業団及び構成4市との共同水質検査体制を基本に、さらに効率的、効果的に実施していきます。

(2) 施設整備と透明性の高い事業運営

南部地域では阪神水道企業団からの受水の増量が可能となったことから、6箇所の浄水場を1箇所に統廃合し施設能力規模を縮小しつつ、北部地域も含め老朽化施設の更新時期や重要度を考慮しながら、地震や災害時でも安定した水の供給ができるよう、浄水場や管路等の耐震化を図るなど、施設整備に努めます。また、情報公開等により、透明性の高い事業運営を推進し、サービスの拡充に努めます。

(3) 環境に配慮した水道事業の推進

省エネルギーの推進を図るとともに、自然エネルギーの有効活用等に取り組みます。また、今後、西宮市の環境マネジメントシステムに沿って、環境施策の推進や環境保全のための管理活動の拡充に努めます。

市民一人ひとりの活動

節水に努める。 水道管漏水箇所の通報に協力する。

まちづくり指標

< 指標の考え方 >

安心・安全な水の安定供給を進めるため、水質基準不適合率および鉛製給水管の解消に向けた取り組みを重点指標に位置づけます。また、健全経営を確保するため、職員1人当たり配水量を指標に設定します。

重点	指標名	単位	現状値 (H18)	目標値 (H30)	指標方向
水質基準不適合率	H30目標値の設定理由	%	0.0	0.0	→
		式	水質基準不適合回数 / 全検査回数		
鉛製給水管率	H30目標値の設定理由	%	53.0	10.0	←
		式	鉛製給水管使用件数 / 全給水件数		
職員1人当たり配水量	H30目標値の設定理由	m³	246,528	302,683	←
		式	年間配水量 / 全職員数		
		平成20年4月の事業変更認可に基づき設定			

主な部門別計画

西宮市水道ビジョン 【水道局：平成19年4月～平成30年3月】
西宮ウォーターリニューアル21 【水道局：平成13年3月～平成37年3月】